



84112-XKD -KOSO DIFFUSER KIT

for HONDA ODYSSEY Absoluto

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。

取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

ご注意

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損のないことを確認して下さい。
2. 取り付け前に取り付け車両の型式の確認を行って下さい。
[適応車種] ODYSSEY
RB1-100
3. 純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。
4. 本製品の加工、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんので御了承下さい。
5. 本製品は、84111-XKD-KOSO リア アンダスポイラ 未装着車には、取り付けができません。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T E C 商品事業部 商品課 国内営業ブロック

【営業時間9:00~18:00】

TEL. 048-462-3135 FAX. 048-462-3121

お客様へ

1. ディフューザーの取り付けにより、ディフューザー一部の地上高が低くなり、縁石、駐車場の車止め、急勾配のスロープや段差等の通過の際、ディフューザーを擦る恐れがありますので、十分注意して運転して下さい。
2. ディフューザーが事故や接触等により、破損・変形した場合は、直ちに修復するか取り外して下さい。そのままの走行は、事故発生の原因になる恐れがあり、大変危険です。
3. 自動洗車機での洗車は避けて下さい。ディフューザーに無理な力が加わり、破損の原因となることがあります。
4. 定期的にボルト・ナット類のゆるみ、ガタ等を点検し、取り付け状態を確認して下さい。

◆◆塗装作業の注意事項◆◆

1. 塗装作業前に必ず車両への取り付けを行い、無理無く取付くことを確認して下さい。
2. 塗装は、本塗り前に必ず下地処理（足付け研磨・脱脂等）を行ってください。
3. 乾燥は、常温乾燥をお勧めします。強制乾燥での焼付け上限温度は60℃です。
4. その他につきましては、塗料メーカーの取扱説明書に従って、有機溶剤中毒および引火事故等の危険防止に努め、作業を行って下さい。

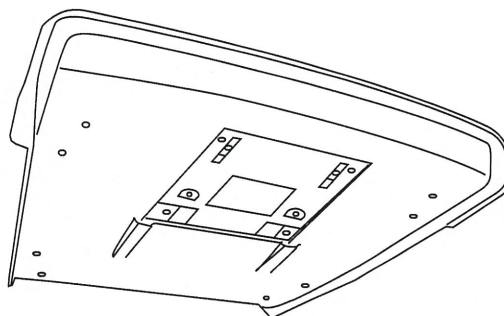
推奨品 塗料：2液性アクリルウレタン樹脂塗料（常温乾燥タイプ）

推奨カラー： ファントムグレー NH-561P（ホンダ純正色）

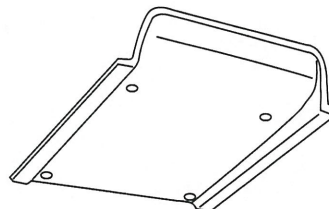
【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.
①	ディフューザー	1
②	ディフューザーカバー	1
③	ステー A	2
④	ステー B	2
⑤	ステー C , R	1
⑥	ステー C , L	1
⑦	ステー D , R	1
⑧	ステー D , L	1
⑨	六角穴付皿ボルト M6×30	2
⑩	六角穴付皿ボルト M6×20	1 2
⑪	トラスボルト M6×40	2
⑫	クリップナットA M6	4
⑬	クリップナットB M6	8
⑭	段付ボルト	2
⑮	カラーA	2
⑯	カラーB	2
⑰	カラーC	2
⑱	両面テープ	1
⑲	ワッシャーナットM6	6
⑳	エプトシラー 厚み15mm	1
㉑	ネオスポンジ 厚み1mm	1

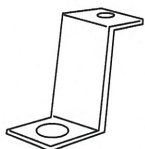
①



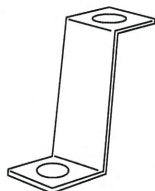
②



③



④



⑤



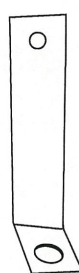
⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



⑫



⑬



⑭



隙間 大

隙間 小

⑮



⑯



⑰



⑱



⑲



⑳



㉑



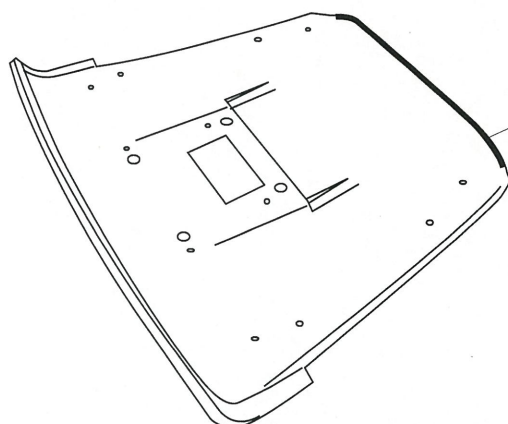
【必要工具】

- ・ドライバー + -
- ・ラチェットレンチ10mm
- ・タッチアップペイント
- ・ドリルφ3・7
- ・マスキングテープ
- ・六角レンチ
- ・スパナ・メガネ10mm
- ・ホワイトガソリン

I. 取付準備

- 《注意》・ディフューザーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。
・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
・作業は左右同様にを行うこと。

①ディフューザー裏面の端末にエプトシーラーを貼り付ける。(下図参照)

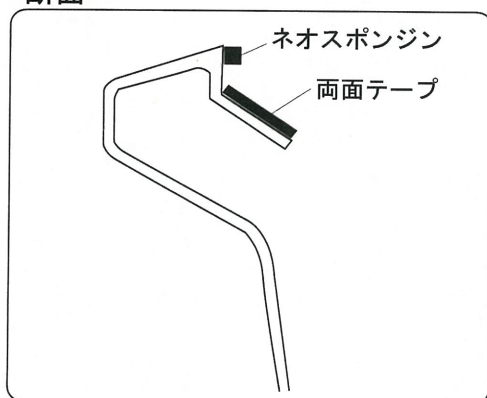


エプトシーラ

※貼り付ける前に必ず脱脂洗浄すること

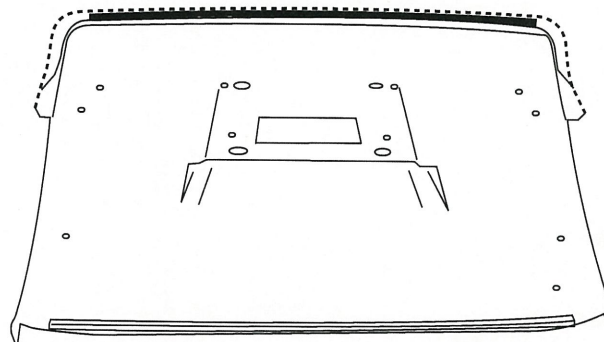
②ディフューザー裏、折り返し面に両面テープ・ネオスポンジを貼り付ける。(下図参照)

断面



ネオスポンジ

両面テープ



----- ネオスポンジ

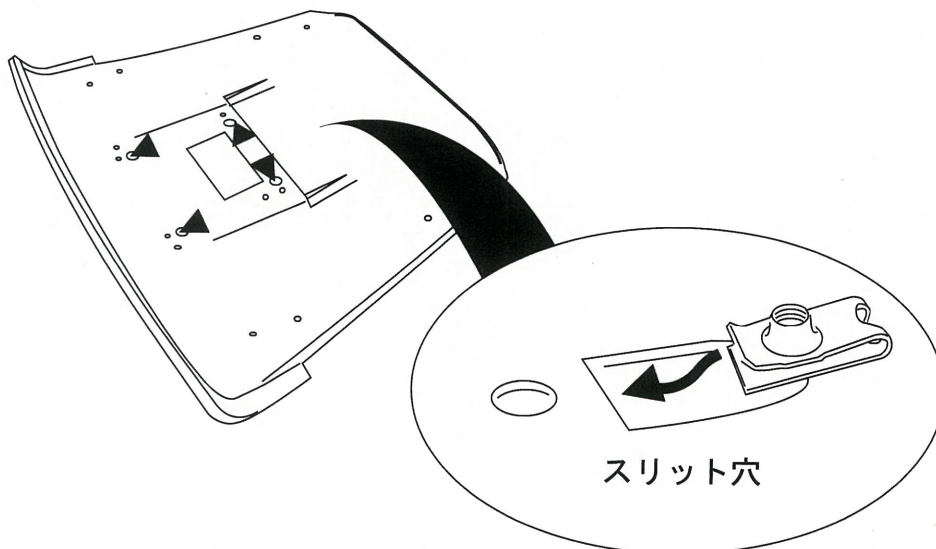
■ 両面テープ

③ディフューザーにクリップナットBを差し込む。

A (4)

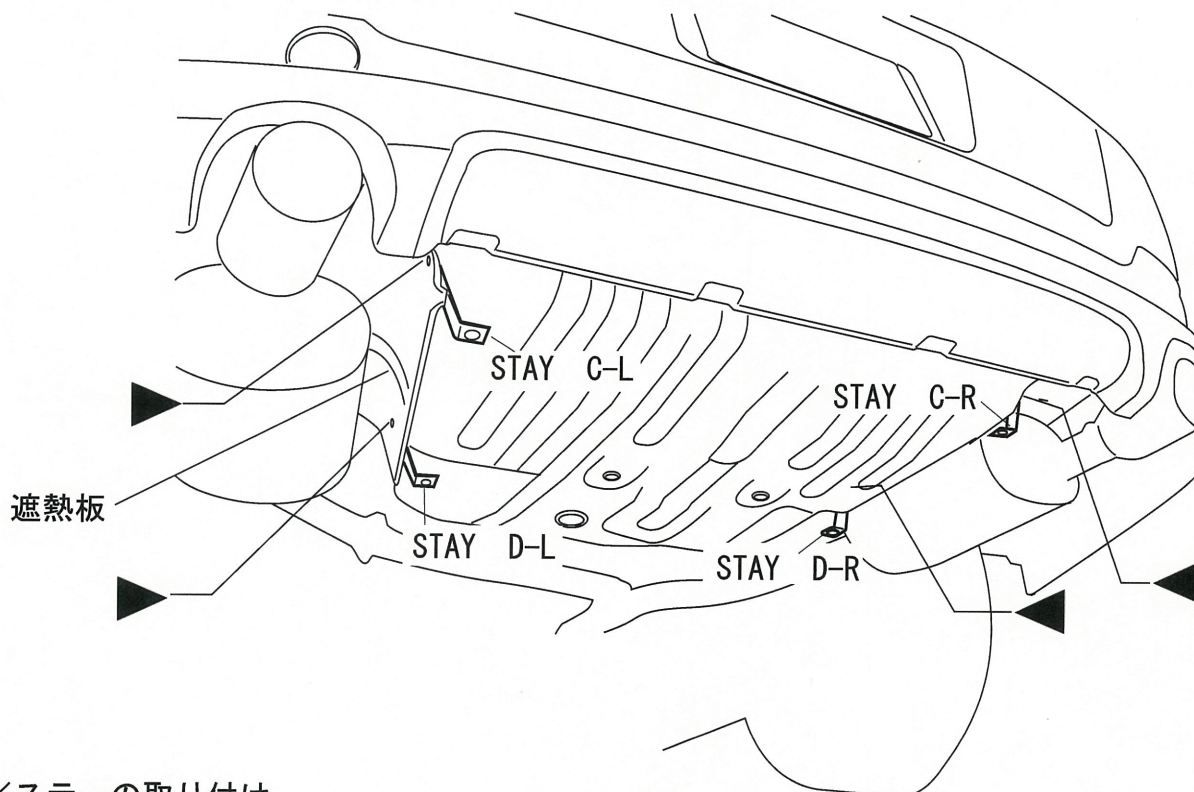
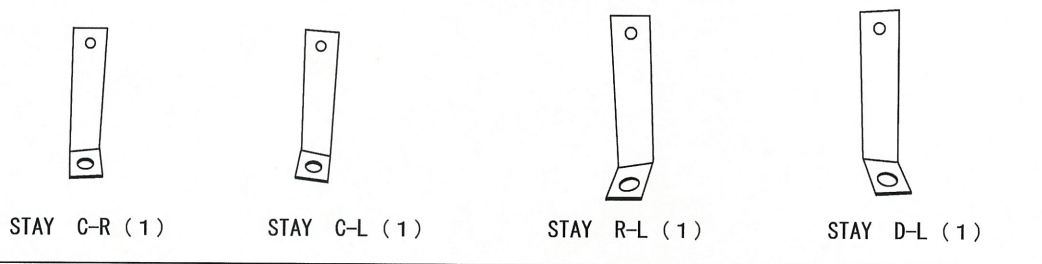


クリップナット A



スリット穴

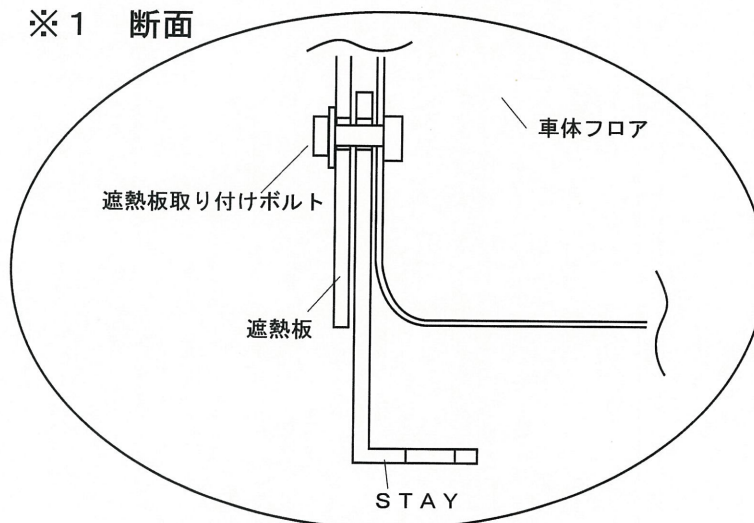
- ④車載スペアタイヤを取り外す（車外へ）。サービスマニュアル参照
 ⑤車両にステーC・Dを取り付ける。（仮付け）（遮熱版取り付けボルト使用）



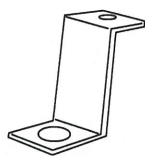
※ステーの取り付け

- ①遮熱板側面 取り付けボルトを取り外す。（4箇所）
- ②各ステーを遮熱板と車体フロアの間に挟みこみ（下図参照※1）
- ①で外したボルトを再使用し、遮熱板と共締めする。

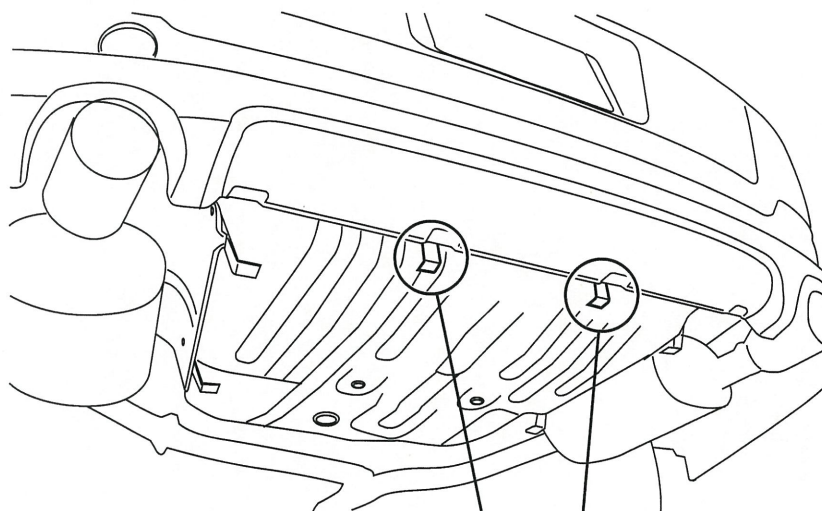
※1 断面



⑥バンパにステーAを取り付ける。

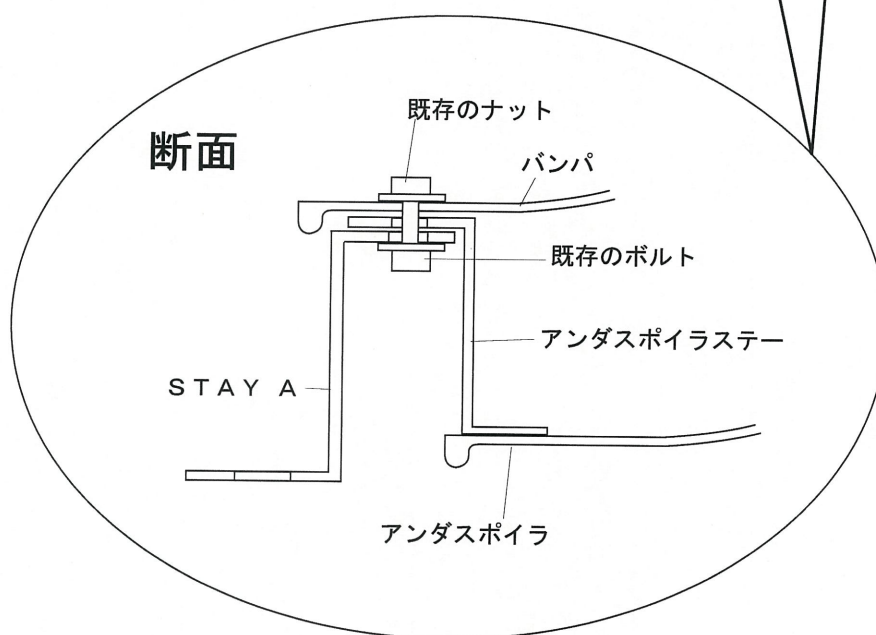


STAY A (2)

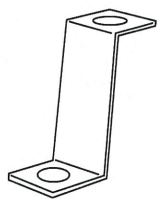


※ステーの取り付け

- ①アンダスポイラ 取り付けボルト・ナットを取り外す。(2箇所)
- ②ステーAをアンダスポイラ取り付けステーと共締めする(下図参照)。
①で外したボルト・ナットを再使用する。



⑦バンパにステーBを取り付ける。



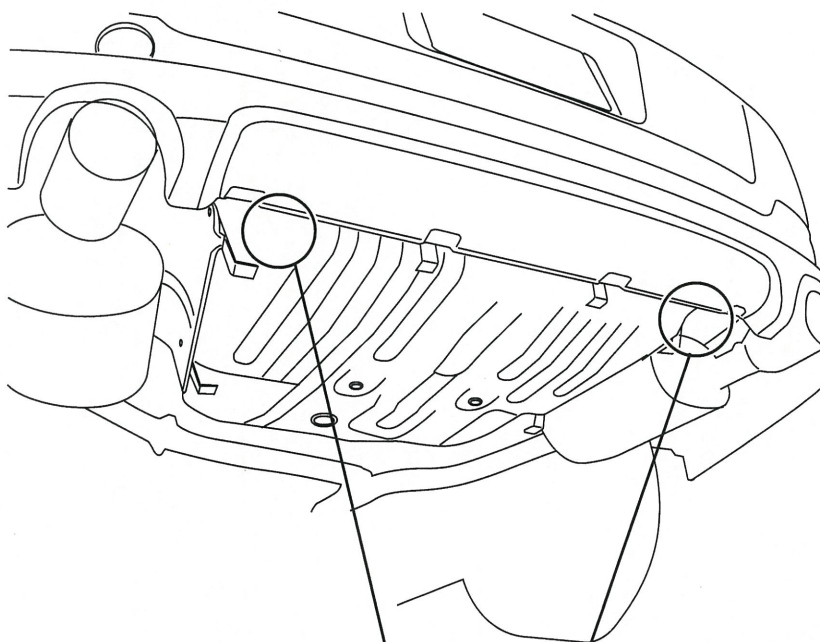
STAY B (2)



段付ボルト (2)

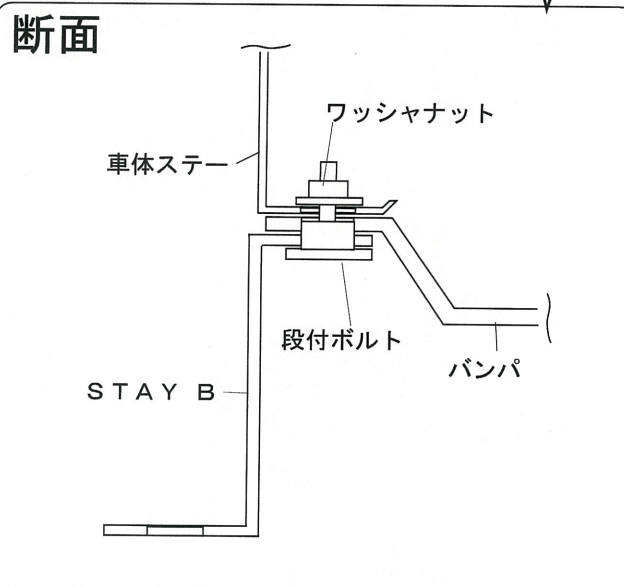


ワッシャナット (2)



※ステーの取り付け

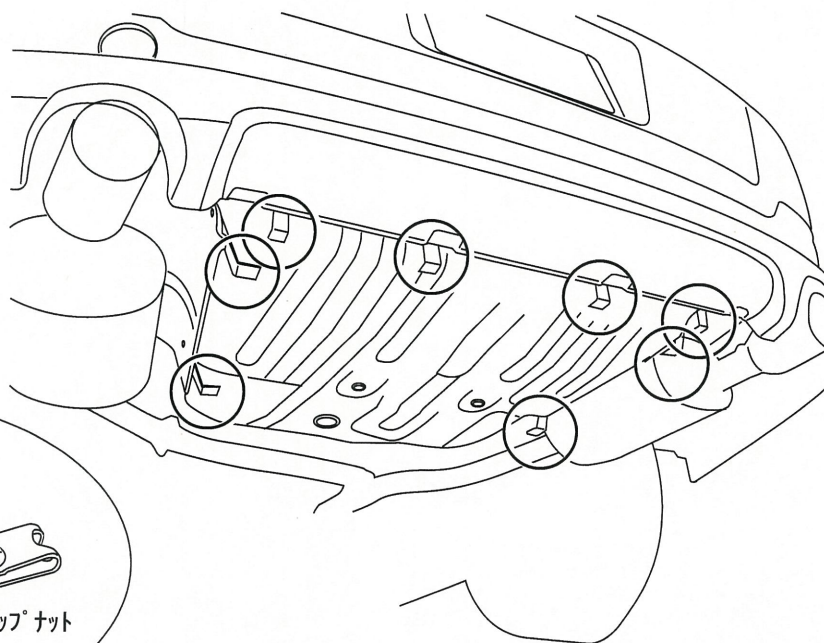
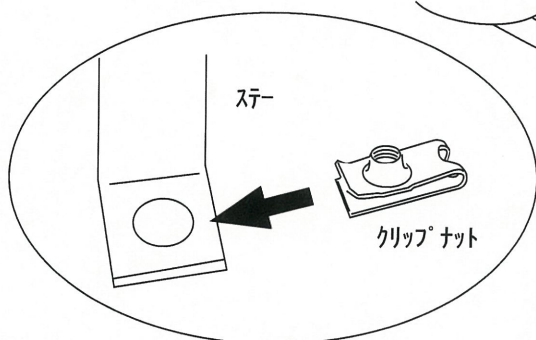
- ①上図の○部 バンパを止めているクリップを取り外す。
- ②ステーBをバンパと共締めする（下図参照）。



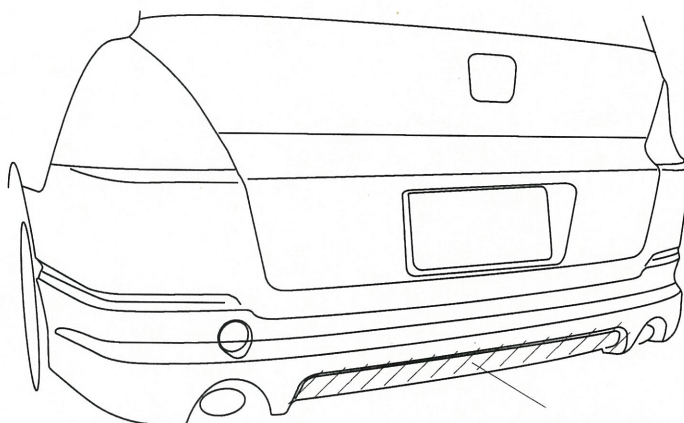
⑨各ステーにクリップナットBは差し込む。



クリップナット B (8)

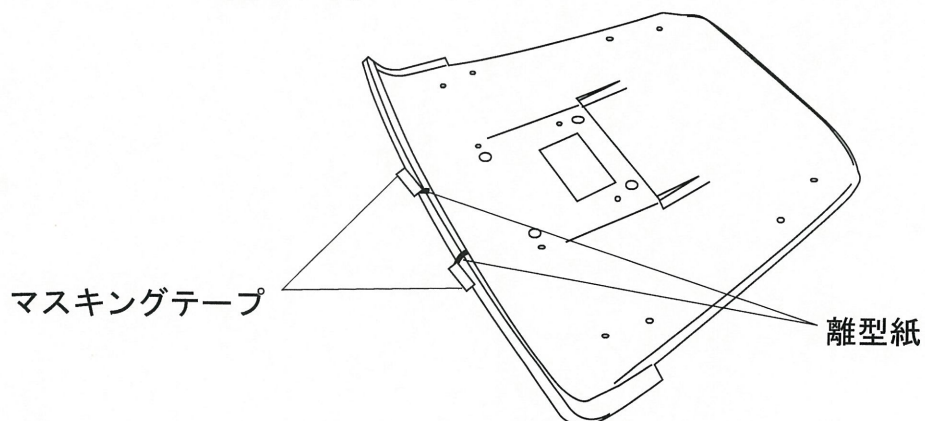


⑩リアアンダスポイラの下図の斜線部をホワイトガソリンで脱脂洗浄する。



脱脂洗浄部

⑪両面テープ離型紙中央に切りかきを入れ、離型紙を5センチ程剥がし外側に折り曲げ、マスキングテープで固定する。



Ⅱ. ディフューザーの取付

《注意》・ディフューザーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。

- ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
- ・作業は左右同様に行うこと。

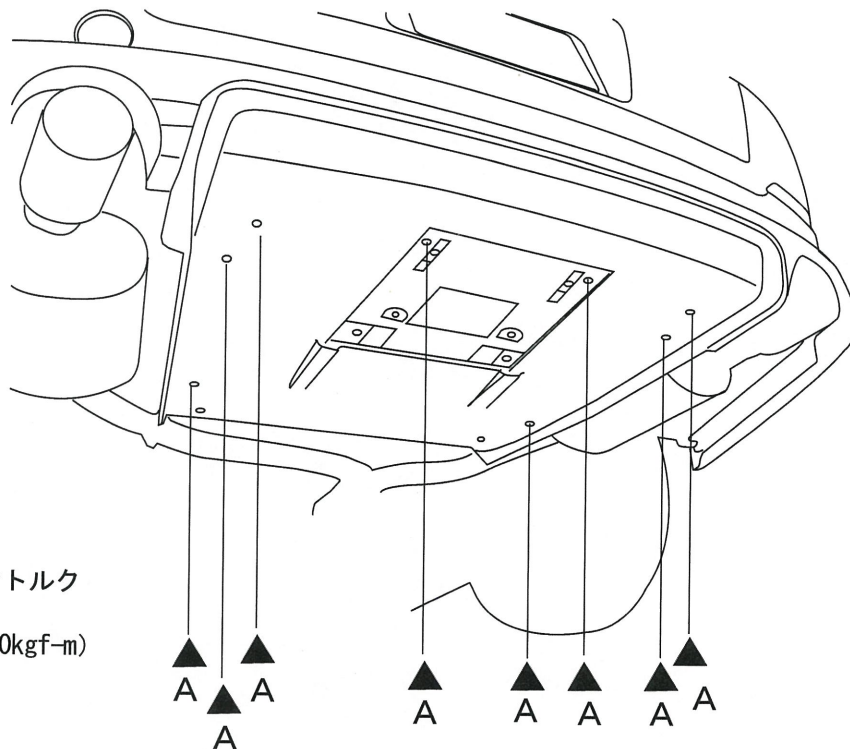
①ディフューザーを仮付けする。

A (6)



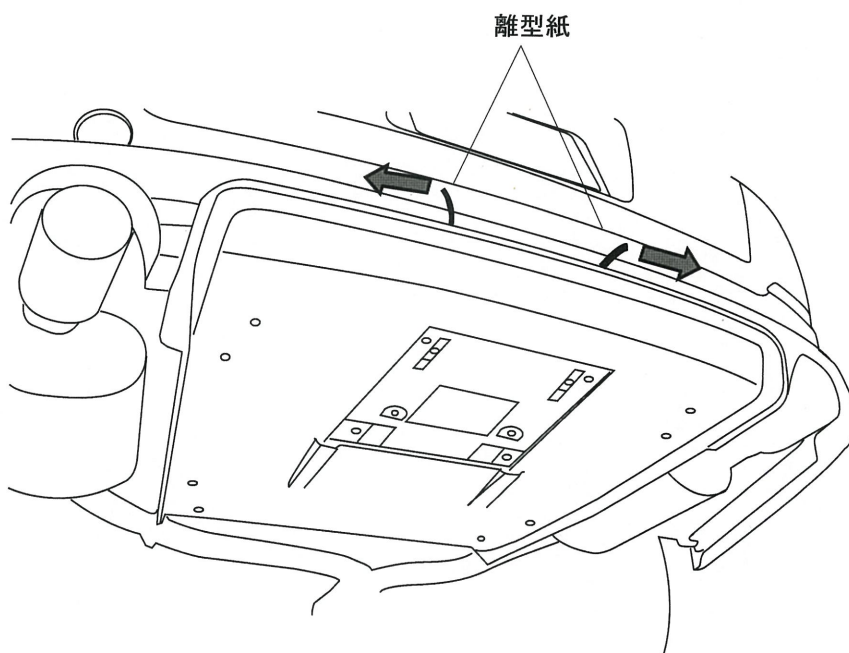
六角穴付皿ねじ
6×20

ナット部締め付けトルク
6×1.0mm
トルク9.8N・m (1.0kgf・m)

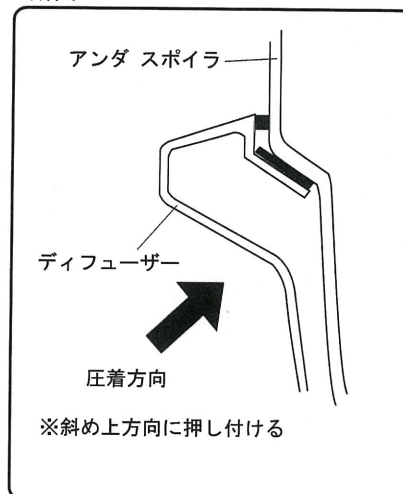


②ディフューザーとアンダスポイラの取り付け位置を確認し、両面テープの離型紙を剥がしディフューザーとアンダースポイラーを圧着する。

※ディフューザーとアンダースポイラの位置だしが完全でない場合取り付け後にディフューザーとアンダースポイラの間に隙が発生するので慎重に行うこと。



断面



③カラーA・Bを差込み、ディフューザーの取り付け穴とカラーの穴のセンターを合わせ、穴のセンター位置でΦ3のドリルを使い穴を開ける。

A (2)



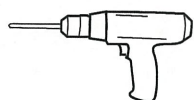
カラーA

B (2)

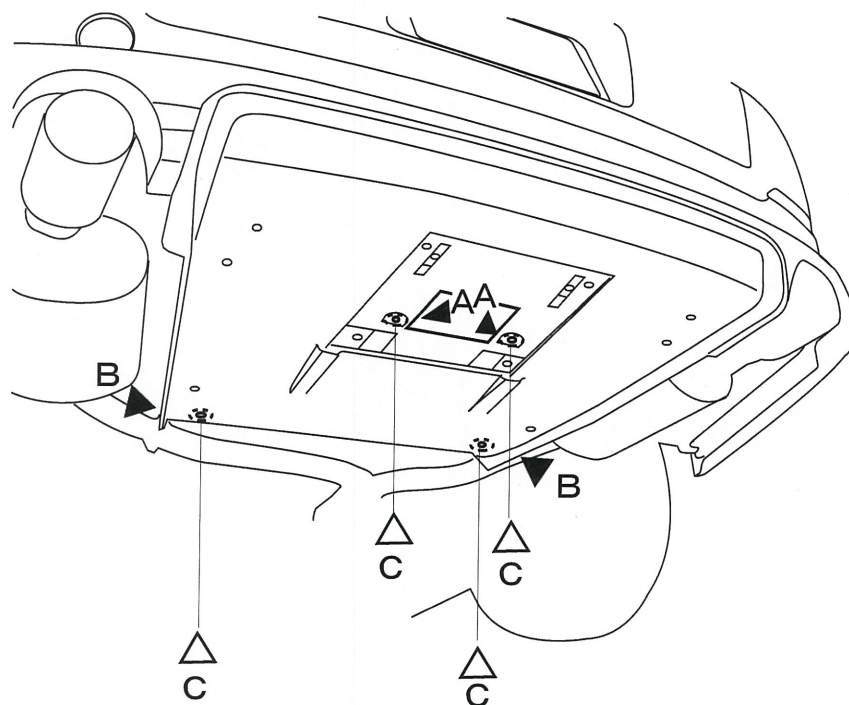


カラーB

C (4箇所)



ドリルΦ3



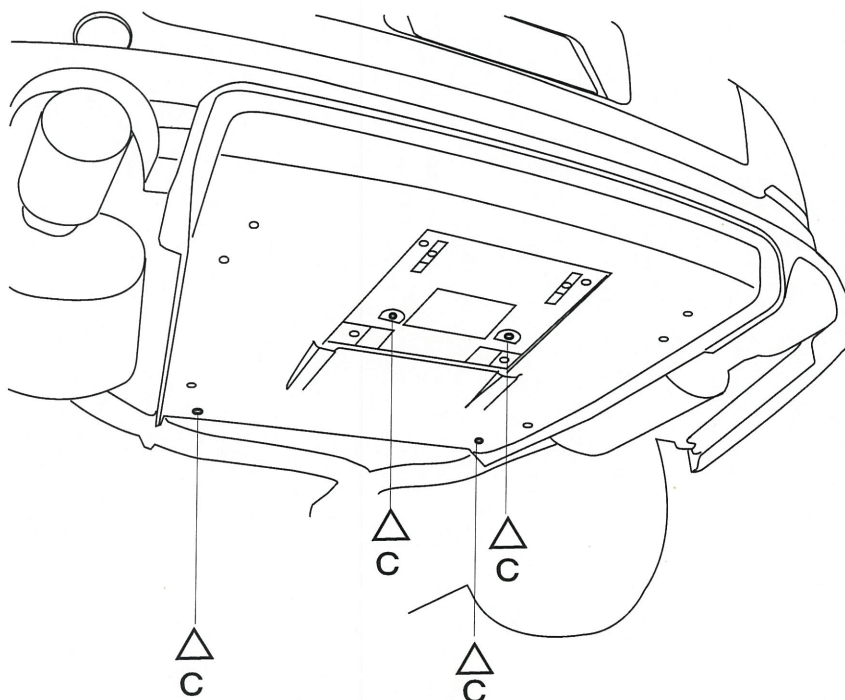
▲ カラー差込方向 (カラーAはサービスホールから差し込む)

④カラーA・Bを取り外し、Φ3のドリル穴の上からΦ7の穴を開ける

C (4箇所)

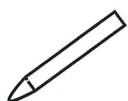


ドリルΦ7

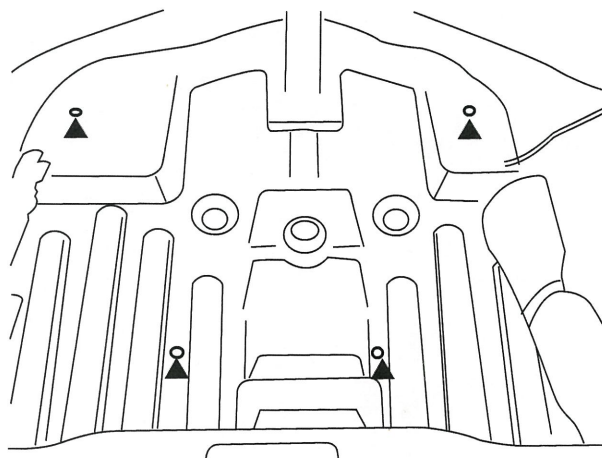


⑤の穴あけ位置を車両内部からタッチアップペンでタッチアップする。

A (4箇所)



タッチペン



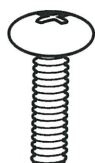
⑥再度カラーC・Dを同位置に差込み、ボルト・ナットでディフューザーを固定する。

A (2)



六角穴付皿ボルト6×30

B (2)



トラスボルト6×40

C (4)



ワッシャナットM6

D (2)

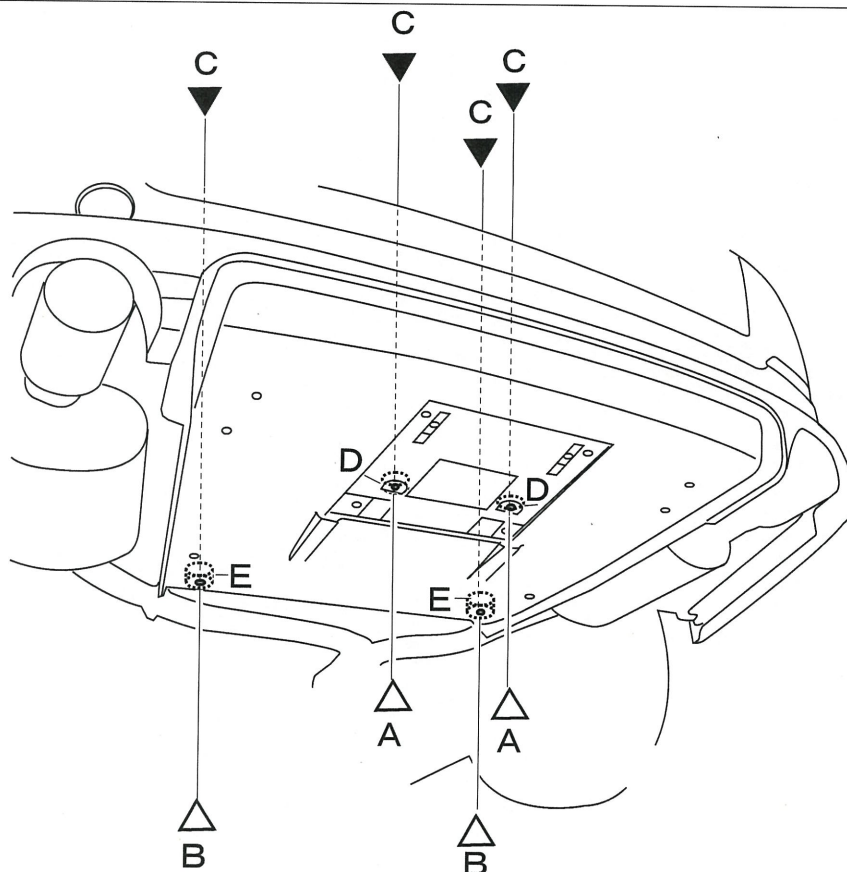


カラーA

E (2)



カラーB



⑦各部のボルトを本締めする。

ナット部締め付けトルク

6 × 1.0mm

トルク9.8N・m (1.0kgf・m)